

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業

復興対策基礎基盤研究プログラム

事後評価総合所見

研究課題名：ゲノム編集法を用いた放射線感受性の個人差を規定する遺伝的要因の同定	
研究代表者（研究機関名）：松浦 伸也（広島大学）	
研究期間及び研究費：平成26年度～平成28年度（3年計画） 61百万円	
項目	要約
1. 研究の概要	<p>モデル細胞とヒト細胞を準備してその放射線感受性を定量的に測定することにより、放射線感受性の個人差を規定する主要な遺伝的素因を同定することを目的として、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none">1) 一塩基編集技術の開発とモデル細胞の作製2) 放射線高感受性が予想されるヒト細胞の収集3) 放射線感受性の定量的評価
2. 総合評価	<p>A</p> <p>目標は十分に達成されており、また、大学院生等の若手研究者の育成もなされていることを評価する。</p> <p>広島大学らしい、専門家が協力した研究であり、今後は3つの研究開発項目をどのように融合していき、放射線感受性の個人差を規定する遺伝的要因の同定を実現するか、発展に期待したい。</p> <p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p>